

(1)事業の概要等

令和6年度 事務事業評価シート

事業番号 実施計画事業	B1502-3	事務事業名	愛知県児童館連絡協議会負担金				事業期間	昭和63年度以前		～	令和8年度以降		
実施計画事業以外の事業	○	担当部	こども未来部				担当課・担当係	多世代交流プラザ・事業推進係					
小牧市まちづくり推進計画(R5年～R8年)	分野別計画編	基本施策 15	展開方向 2	事業・予算区分	一般事業	款 3 項 3 目 5 大 2 中 1							
根拠法令 ・個別計画					対象 (何・誰を対象に)	児童館職員							
事業の概要 目的 (何のために)	県内児童館との情報交換等の連携の他、本協議会が実施する研修に児童館職員が参加することにより児童厚生員の資格取得につながるとともに、職員の資質向上を図り、児童館の運営・活動に役立てる。				内容 (どのような方法で)	愛知県児童館連絡協議会が定める会費の支払い							

(2)事業費

事業費	項目				千円	R2	R3	R4	R5	R6		
	直接経費	決算額	一般財源	財源		5	5	5	5	5		
			国・県支出金			0	0	0	0	0		
			その他			0	0	0	0	0		
			計(A)			5	5	5	5	5		
			対前年比	%		—	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%		
	人件費	予算額		千円		5	5	5	5	5		
		正規職員		人		0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
		正規職員(平均賃金)		千円		75	75	75	75	75		
		その他職員		人		—	—	—	—	—		
		その他職員(時給×時間)		千円		0	0	0	0	0		
	計(B)				千円	75	75	75	75	75		
	事業費合計(C=A+B)				千円	80	80	80	80	80		

(3)業績

展開方向における指標の推移	基本施策 15	1	指標名		単位	方向性	基準値	R5	R6	R7	R8
			2								
	展開方向	2	3		人						

指標	指標ほか		単位	R2		R3		R4		R5		R6	
	成果指標	児童館が楽しいと答えた児童の割合		目標									
				実績	98.9	87.5		99.1		95.0			
	活動指標	研修参加者数	件	目標									
				実績	3	3		18		27			
				目標									
	単位事業あたり	受益者数(a)		人	3	3		18		27			
		受益者あたり事業費(=C/a)		円	26,620	26,620		4,436		2,957			

(4-1)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維持(改善)	事業のボリュームは現状規模で維持するものの、手法の改善をするもの		
	事業の達成状況と課題	協議会の実施する研修に参加し、児童厚生員の資格取得に繋がつておる、職員の質の向上にも寄与している。	今後の実施内容・今後の改善内容	今後の実施内容・今後の改善内容	今後の実施内容・今後の改善内容
改善の有無	改善の有無	無	事務による事業評価	千円	節
	これまでの改善内容			細節	細々節

(4-2)事業継続の可能性(事業のスクラップ可能性)

評価項目		評価結果	評価結果を判断した理由
事業分析	妥当性	行政が公費を投入して実施することが妥当か(対象を見直すことはできないか)	妥当である 児童館(こまきこども未来館)機能の充実において、職員の資質向上は重要であり、必要。
	有効性	廃止・休止した場合に住民が影響を受けるか	一部の住民に影響がある 職員の資質向上や連携の機会が失われる。
	効率性	サービスを低下させずに総事業費を削減できないか	現状のままでよい 総事業費の削減余地がない
		外部への委託や類似事業との統合により事業費の削減の余地はないか	現状のままでよい 統合等の余地はない。
	公平性	受益者負担は適正か	適正である 協議会の実施する研修に参加し、児童厚生員の資格取得に繋がっており、職員の質の向上にも寄与している